

NITTO KOHKI CO.,LTD.

Social & Environmental

REPORT 2019

日東工器 2019年 社会・環境報告書

地球環境への取り組みを通じて

社会的責任を果たし

持続可能な社会を追求します

発行目的と編集方針

日東工器株式会社の社会、環境への取り組みと現状を株主やお取引先をはじめとするステークホルダーの皆様にご理解いただき、皆様とのコミュニケーションを深めていくことを目的としています。社会貢献活動や環境負荷についての指標を中心に、正確で透明性の高い情報開示をモットーに編集を進めました。また、2015年から「社会・環境報告書」といたしました。財務情報、企業情報について詳しくお知りになりたい方は、当社ホームページをご覧ください。

<http://www.nitto-kohki.co.jp/>

対象期間

2018年4月～2019年3月

対象範囲

原則として、日東工器株式会社としていきます。また、参考としてグループ会社の栃木日東工器株式会社、白河日東工器株式会社、株式会社メドテックおよび海外グループ会社の環境負荷の状況報告を含んでいます。

発行時期

- ▶発行日：2019年5月13日
- ▶次回発行：2020年5月予定

日東工器では2010年から環境報告書を発行しています。

ガイドライン(参考)

- ▶環境省「環境報告書ガイドライン(2012年版)」

お問い合わせ先

- 日東工器株式会社 ISO推進部
- ▶TEL: 03-3755-1111(代)
- ▶FAX: 03-5700-7192

後発事象

2019年4月1日以降、発行日現在までの後発事象はございません。

日東工器シンボルマーク(裏表紙参照)

日東工器のイニシャル「N」に無限大の記号「∞」を重ね合わせた「無限大マーク」の外側にタービンブレードを図案化して配したものです。「無限の可能性を信じ、常に知性と勇気が生む強いパワーによって回転し、前進する」との企業姿勢を象徴しています。

免責事項

この報告書には、日東工器の過去と現在の事実だけでなく将来についての計画、予想および見通しの記述が含まれています。これらの記述は、現時点で入手した情報に基づく仮定ないし判断であり、諸条件の変化によって将来の事業活動の結果や事象が予測と異なる可能性があります。

Contents

編集にあたって	1
Top Message	2
Topics	
①日東工器本社植物図鑑	3
②NITTO KOHKI INDUSTRY(THAILAND) 「ISO・環境・製品含有化学物質管理活動」紹介	5
Chapter 1 経営	
Part 1 企業統治(コーポレートガバナンス) / 内部統制	7
社是・社訓・経営方針/取締役会および内部統制の役割/ コンプライアンスの整備・運用状況/ BCM(事業継続マネジメント)の体制・運用状況/防災の取り組み	
Part 2 事業分野・財務状況	9
Chapter 2 社会への取り組み	
Part 1 お客様とともに	11
営業部門の取り組み/アタックフェア50周年/携帯型吸引器を緊急提供	
Part 2 学生との関わり	12
会社説明会から入社まで/インターンシップによる学生の受け入れ	
Part 3 社員および家族との関わり	13
第7回家族参観日/メドテック家族参観日/ライフプランセミナー/ 社員向け決算発表会/「社員会」活動紹介/日東工器創立記念式典	
Part 4 地域との関わり	15
「第18回 エコフェスタワンダーランドin大森 ～地域から考える地球の未来～」/森林保全活動inみはらしの丘/ 「平成30年度多摩川河川敷清掃活動～グリーンアクションたまがわ～」に参加/「鬼怒川・小貝川クリーン大作戦」/ 大阪支店が「ごみ減量」活動で表彰/名古屋支店の防災訓練	
Chapter 3 環境への取り組み	
Part 1 日東工器が目指す環境経営	17
Part 2 品質・環境方針 品質・環境マネジメントシステム	17
品質・環境方針(ISO9001・14001) /品質・環境マネジメント体制/ 品質・環境マネジメントシステムの運用	
Part 3 製品含有化学物質への取り組み	18
環境に関する法規制遵守状況/グリーン調達/環境教育の実施状況	
Part 4 地球温暖化対策・廃棄物の削減	19
地球温暖化防止に向けた活動/廃棄物の削減/ ～輸送における環境活動～プラスチック廃棄物削減への取り組み	
Part 5 環境への影響について	20
Part 6 製品開発	21
自社製品コンセプト/環境配慮設計 モノがたり	
ECO Topics	22
Part 7 生産部門の取り組み	23
生産改善小集団活動成果発表会/ 仕入れ先様への事業計画発表会開催/栃木日東工器の生産改善/ メドテックの生産改善/白河日東工器の生産改善/海外環境データ	
Part 8 オフィスの取り組み	25
日東工器本社/廃棄物減量活動表彰	
Part 9 生物多様性への取り組み	26
「やまがた絆の森プロジェクト」に参加	

産業界の発展と 環境対応の融合、 そして社会に貢献できる 企業に

日東工器株式会社 代表取締役社長

小形明誠



社会・環境対応への取り組み

当社は創業以来「省力・省人化」をテーマに、時代のニーズに応える独創的な製品を開発してきました。そこには、常に「人を想う」気持ちを大切にモノづくりが基本にあります。「人を想う」気持ち、それは環境対応にもつながります。

今世紀に入り地球規模で、環境問題が取り上げられています。地球温暖化・海洋汚染・地球資源の枯渇と再利用、そしてこれら問題へのアプローチとして、世界的な環境法規制強化があります。

当社は、長年産業界の発展に貢献してきたメーカーとして、環境法規制の順守、事業活動における環境負荷の軽減・製品を通じた社会への貢献を推進しています。

事業活動とISOマネジメントシステム

日東工器グループでは、ISO9001（品質マネジメントシステム：QMS）およびISO14001（環境マネジメントシステム：EMS）を、事業活動を円滑に進める道具として、長年運用してきました。

2015年に、QMSとEMSのベースとなるISO規格が改定されました。この規格改定を好機として、日東工器グループ各社で従来運用しているQMSとEMSを見直し、事業活動における補填事項の整備と、事業活動により有効に働く活動として再構築し、2015年度版へ認証移行して運用しています。

ISOマネジメントシステムは、上手に活用すれば有益となりますが、一方で活用を誤ると事業活動の足枷となってしまいます。また優れた方式や組織も、時間が経過すると徐々に形骸化・陳腐化します。その事を念頭に置いて、日東工器グループ各社はISOマネジメントシステムを継続的に見直し、活用していきます。

グリーン調達

現在、製造業における環境法規制上の課題は、RoHS指令における「フタル酸エステル類」の代替と、鉛適用除外期限への対応があります。どちらも製造業界においては、大きな影響・負担がかかる問題です。当社も「フタル酸エステル類」の代替対応には時間をかけ、裏付け検証を実施して徐々に代替対応を進めてきました。できる限りの代替対応と、代替不可品の外部情報開示を行いました。現在は鉛適用除外の代替対応へ、グリーン調達活動の軸足をシフトしています。

当社のグリーン調達管理体制を紹介します。2012年に発行されたJIS規格に則り、日東工器グループで「製品含有化学物質管理システム：CMS」を構築し、2018年度をもって第一次CMS中期目標（5ヶ年）の運用活動が完了しました。2019年度より第二次CMS中期目標を設定し、新たな活動を開始しています。またJIS規格が2017年に改定されたことを受け、日東工器グループ「製品含有化学物質管理システム：CMS」を見直し改定しました。2019年度より第二次CMS中期目標と合わせて運用を開始しています。

グリーン調達活動は、運用システムを含め、当社仕入れ先様のご協力を得て運用されています。これからも仕入れ先の皆様とともに、グリーン調達活動を進めます。

産業界の発展と環境対応の融合、そして社会への貢献につながるよう、今後も日東工器グループ一丸となって活動してまいります。

1 | 日東工器本社植物図鑑

日東工器の本社を彩る数々の草木花をご紹介します。

日東工器本社は、2010年「緑の中の本社・研究所」をコンセプトに、建て替えられました。敷地内には多くの樹木が植えられています。敷地の外周には、約1～2mの幅で緑地を設け、社屋の4階・5階には屋上緑地を設けています。

植物の種類は全部で45種類。内訳は、「常緑樹[※]」が26種類、「落葉樹[※]」が16種類、その他が3種類で、総数約4,000本の樹木を植えています。

春はツツジ・ジンチョウゲ、夏はサルスベリ・ミカン、秋はキンモクセイ・モミジ、冬はサザンカ・ツバキなど、四季折々、さまざまな花などが鑑賞でき、近隣地域の皆様にも好評です。

※「常緑樹」…四季を通じ常に緑葉を保つ樹木
 「落葉樹」…毎秋全部の葉が落葉し越冬する樹木

植物一覧



開花した「ツツジ」と「ミカン」の果実



「ツツジ」「ユキヤナギ」「シャクナゲ」など



日東工器シンボルツリーの「ソヨゴ」



社屋竣工記念樹の「サルスベリ」の幹



「ノムラモミジ」の紅葉

⑧カンツバキ



ツバキ科の常緑低木。晩秋から、冬にかけての寒い時期に、紅色の八重の花を咲かせます。

⑨シャクナゲ



ツツジ科の常緑低木。葉は常緑、厚い革質で光沢があり、半球状の美しく大きな花を咲かせます。

⑩ミカン



ミカン科の常緑低木またはその果実を指し、5月頃に白い花を咲かせます。

⑪クロガネモチ



モチノキ科モチノキ属の常緑高木。秋から冬にたくさんの赤い小さな果実をつけます。開花時期は春先。



4階テラス生垣の「シラカシ」



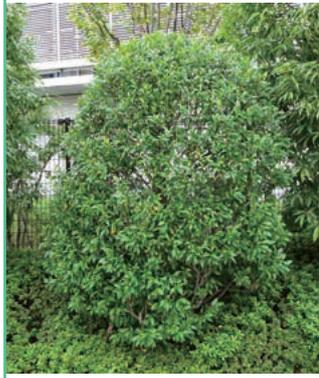
「ジンチョウゲ」

②② ヤマモモ



中国および日本を原産地とするヤマモモ科の常緑樹。葉が密生し、丈夫なため、公共用の樹木として多く使われています。

②① オガタマ



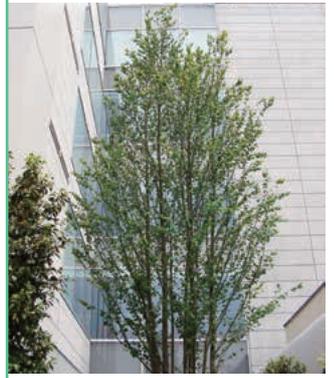
モクレン科オガタマノキ属の常緑高木。日本に自生するモクレン科では唯一の常緑樹で、花からはバナナのような香りがします。

②① ツバキ



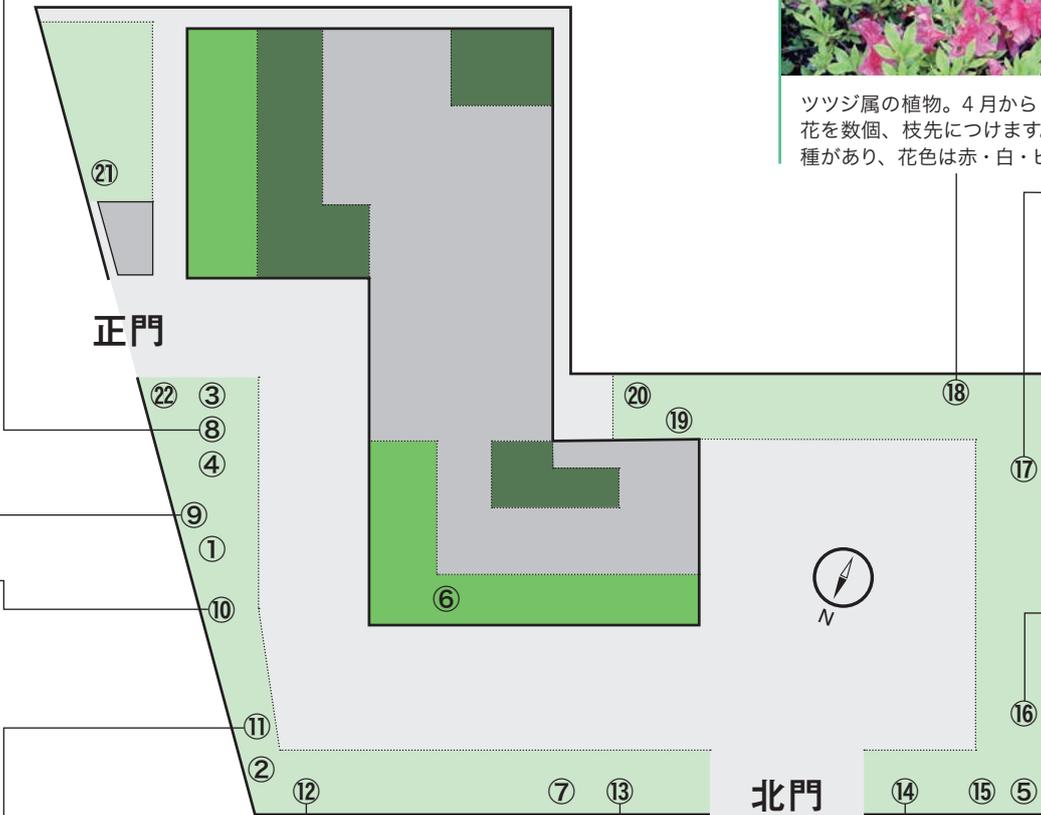
ツバキ科ツバキ属の常緑樹で照葉樹林の代表的な樹木です。花期は冬から春にかけて長期間楽しめます。

①⑨ カツラ



カツラ科カツラ属の落葉高木。秋には黄色く紅葉し、落葉は甘い香りがします。

- 5階緑地
- 4階緑地
- 敷地外周緑地



①⑧ ツツジ



ツツジ属の植物。4月から5月の春先にかけて漏斗型の特徴的な形の花を数個、枝先につけます。古くから園芸樹木として親しまれ多くの品種があり、花色は赤・白・ピンク・紫と華やかです。

①⑦ サルスベリ (4)



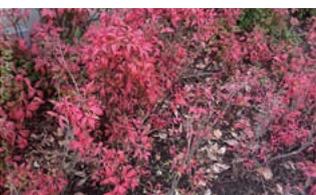
猿も滑って落ちるほどツルツルとした幹の様子からサルスベリと名付けられました。夏から秋まで美しい花姿が楽しめます。

①⑥ ヤマモミジ



カエデ科の落葉高木。春先の鮮やかな新緑と秋の美しい紅葉が楽しめます。

①② ダルマナンテン



「オタフクナンテン」とも呼ばれ、人気の樹木です。常緑樹でありながら、晩秋には紅葉も楽しめます。

①③ シモツケ



バラ科シモツケ属の落葉低木。初夏に桃色または白色の集合花を咲かせ、秋には紅葉します。

①④ クチナシ



アカネ科クチナシ属の常緑低木。三大香木の一つとされ、甘い香りを初夏に放ちます。

①⑤ クス



クスノキ科ニッケイ属の常緑高木です。5月から6月にかけて、白く淡い黄緑色の小さな花が咲きます。

2 | NITTO KOHKI INDUSTRY 「ISO・環境・製品含有化学

NITTO KOHKI INDUSTRY (THAILAND) (以下、NKIT) は、タイ国アユタヤ県にあった日東工器グループの2つの工場を2013年4月に合併して設立されました。従業員は約200人で、日東工器製品の「リニア・カブラ・ツール」の生産を行っています。

設立以来、さまざまな環境活動を行っていますが、その中の主な活動を紹介します。

① 2009年にISO14001を認証取得し、2018年に2015年版に移行しました。2015年版の活動は、2018年4月より実施しています。

② 企業活動における、電気や水などのエネルギーや、ゴミ分別によるリサイクルの状況を毎月管理集計し、改善の余地がないか検討し、省エネ・省資源・5S活動に取り組んでいます。

③ 日東工器グリーン調達基準に基づき製品の構成部品全てに対し、仕入れ先様に管理対象化学物質の管理・低減活動へのご協力をお願いしています。

④ 全社員の具体的な環境改善活動として、「NKIT SAVE DAYS」を実施しています。



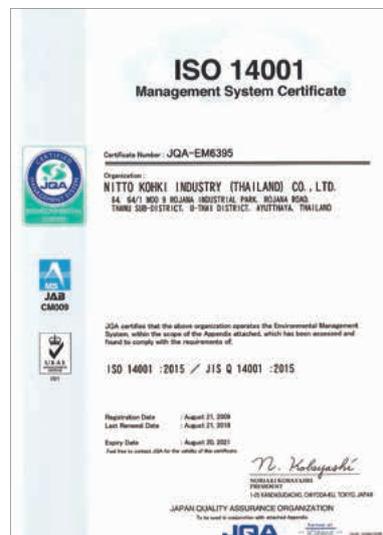
NKIT 社屋 (外観)



5S 活動を実践した工場内



グリーン調達・環境活動ミーティング



ISO14001:2015 年版認証状

RY(THAILAND) 物質管理活動」紹介

NKIT SAVE DAYS 2018

2018年度NKIT環境改善活動発表会

NKIT では 2016 年度から年に一度、環境への社内取り組み週間として「NKIT SAVE DAYS」を実施しています。この活動は、社内の安全委員会メンバーを中心に、従業員の環境に対する既得知識の再認識と、自分たちの作業環境改善・作業効率向上を目的とした、小集団のグループ活動です。

それぞれのチームが独自に発想した画期的なアイデアを、見やすく・分かりやすくイラストや発表方法を工夫して、

SAVE DAYS 最終日に全従業員の前で発表します。発表は安全委員会メンバーによって、「実用的で実務に役立つか」、「環境に優しいか」、「安全か」などの評価ポイントで判定されます。各チームの発表は順位付けされ、優秀なチームは表彰されます。発表されたアイデアは仕事に役立てられ、全従業員の知識と認識の向上につながっています。



Part

1

全てのステークホルダーに誠意を尽くし、信用を蓄積し続けます。

企業統治（コーポレートガバナンス）/内部統制

日東工器において、コーポレートガバナンスの目的は、継続的に企業価値を高めていくためのものとの認識に立ち、適時適切な情報開示によって透明性を確保できるよう、経営の監視が適正に機能するよう努めていきます。

社是

開発は企業の保険なり

社是にある「開発」には4つの意味が含まれています。

- ① 社会に貢献する製品開発
- ② 販売市場の開発
- ③ 人材開発
- ④ 組織管理体制の開発

これらの開発に全力を尽くすことが、会社の経営体質を強化し会社の持続的発展を保証する。すなわち「保険」であるということです。

社訓

- ▶ 創意を発揚し技術を蓄積しよう
- ▶ 鋭気を涵養し活力を蓄積しよう
- ▶ 誠意を尽くし信用を蓄積しよう

経営方針

- ▶ 社会への貢献
- ▶ 従業員の幸福
- ▶ 会社の発展

取締役会および内部統制の役割

2019年3月現在、取締役会は、11人の取締役で構成され、毎月、定例取締役会を開催しています。取締役11人のうち2人は、会社との利害関係がない社外取締役です。

取締役会において、業務を執行する取締役は、会社が成長するために必要な提案を積極的に行います。社外取締役は、その提案について中長期的な企業価値向上の観点から意見を述べ、十分に審議をした上で決議をしています。また取締役会は、会社法に基づく業務の適正を確保するための体制の整備について決議します。

内部統制システムの基本方針は、当社ホームページ「コーポレートガバナンスに関する報告書」で開示しています。内部統制システムを整備し、適切に運用することにより社会的責任を果たします。

監査室は、独立した内部監査部門として社内全部門を網

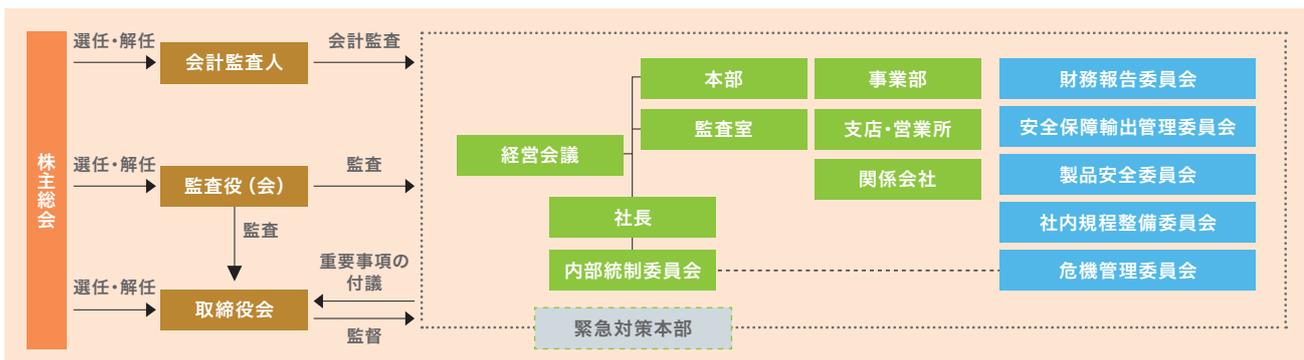
羅的に、統制活動・リスク分析・情報伝達・業務改善・法令および社内規程の順守状況を客観的に評価し、経営の健全化・合理化に資するための監査を実施しています。2019年3月現在、法規制の違反や利害関係者からの要求および苦情の報告はありません。

2019年3月現在、監査役会は、3人の監査役で構成され、そのうち2人が社外監査役です。監査役は取締役会のほか重要な会議に出席し、取締役の任務遂行について厳正な監視を行うとともに適切に意見を述べています。

監査役は、各取締役・会計監査人・監査室と連携・情報収集を行います。そこで収集した情報を基に毎月、定例監査役会を開催、審議を行い、必要に応じて経営改善のための提言などを行っています。

※2019年6月より、役員体制を変更予定です。詳細は当社ホームページのニュースリリースより、「執行役員制度の導入に関する補足説明」をご参照ください。

内部統制システム組織図





コンプライアンスの整備・運用状況

▶ コンプライアンスへの取り組み

日東工器グループは、企業理念に基づき、法令順守はもとより社内規程・企業倫理・社会規範に則り、良識を持って行動するための基本事項を定めています。これを適切に運用し、コンプライアンスの徹底と社会的信用の向上を図ります。

▶ コンプライアンス教育

2015年7月よりコンプライアンスに関する「メールマガジ

ン」を毎月、全社員に配信・周知しています。今後もコンプライアンス教育を実施していきます。

▶ コンプライアンス相談窓口

日東工器グループは「内部通報窓口」として社内、社外それぞれにホットライン（通報・相談窓口）を設置しています。あわせて内部通報規程やポスターなどで、社員に「内部通報窓口」を周知しています。

BCM（事業継続マネジメント）の体制・運用状況

危機管理委員会は、総合的なBCM（事業継続マネジメント）の一環として、海外治安・自然災害・感染症・事故の災害リスクなど、必要に応じた緊急対応の検討を行っています。

2011年に発生した東日本大震災の早期復旧や、タイ国の大洪水で生じた工場浸水による一時的な国内工場への生産シフトの経験から、お客様への影響を最小限とする体制を構築しています。

生産部門は購買ルートの確保・生産のバックアップ体制、

販売部門は製品提供の維持・販売・営業拠点のバックアップ体制の構築など、事業継続のための取り組みを行っています。また、海外治安情報の伝達、インフルエンザ対策、規程類の見直し、非常用品の備蓄も、計画的に行っています。

当社の事業継続マネジメントに対する取り組みを理解していただくため、BCM体制を当社ホームページの「事業継続マネジメント」で公開しています。

防災の取り組み

▶ 防災訓練

地震や火災などの発生時、自分の命をきちんと守れるよう、本社では年に一度、防災訓練を実施しています。基本的な避難・点呼に加え、「けが人が出た場合」「行方不明者がいる場合」「防火設備が機能した場合」などを想定し、さまざまな事態に対し、自主的に判断し行動できる従業員の育成に努めています。

2018年度は10月に防災訓練を実施しました。避難訓練と合わせ、VR車を消防署に準備いただき、地震災害を疑似体験しました。VR車は、ヘッドマウントディスプレイを装着し、映像とともに座席が動き、熱やにおいなども発生して地震災害を疑似体験できます。

また、営業拠点では、2014年から防災訓練の実施を義務化しています。従業員数が少ない拠点では地域の防災訓練に参加し、その土地ならではの危険を認識し、適切な対策を考える機会としています。

▶ 救命救急講習会

2010年度から災害対策の一環として、田園調布消防署の協力のもと、普通・上級救命救急講習会を毎年1月に開催しています。すでに累計約220名が受講しています。全従業員

が技能を習得し、万が一の場合には、地域社会に貢献できることを目指しています。

今後も継続して、さまざまな防災活動に積極的に取り組んでいきます。



Part
2

作業の省人化・省力化を軸に産業の未来を創造します。

事業分野・財務状況

日東工器は「開発は企業の保険なり」を社是に、独創的な技術による事業活動を展開してきました。

モノづくりを追求するメーカーとして半世紀以上にわたって事業を営んでいます。

事業は以下の4分野です。

- ①25,000種におよぶ迅速流体継手「カブラ」
- ②省力化機械工具「ツール」、電動ドライバ「デルボ」
- ③リニア駆動などのコンプレッサ&ポンプとその応用製品「リニア」
- ④動力源不要のドアクローザ「オートヒンジ」

社是にある「開発」とは技術・製品だけでなく、マーケティング(営業)、人材育成などのイノベーション(創造的な変革)も意味しています。日東工器は、開発を軸とした経営によって、今後とも一層の成長・発展を目指していきます。

ドアクローザ (オートヒンジ)

ドアクローザは、開けたドアを油圧とスプリングで静かに閉め、快適で安全な生活空間を提供する環境に配慮した製品です。

「開き戸用」「引き戸用」それぞれのドアクローザが、ドアの外観を美しく演出します。

安全に扉を開閉できるドアクローザは、バリアフリーの面からも注目され、住宅・学校・医療施設など幅広い分野で採用されています。

ドア周辺機器にも安全性・省エネ性の要望が高まっていて、用途に合わせた製品を開発しています。



迅速流体継手 (カブラ)

空気・水・油などの流体配管の着脱を簡単に、スピーディに行なう継手製品です。世界のトップブランドとして、幅広い分野でさまざまな用途に活用されています。

生み出された製品群は25,000種類以上、業界ではトップクラスのシェアを誇り、現在では環境対応製品や、従来と異なる用途分野をマーケットに提案・提供しています。

さまざまな要求に応えるため、時代の先端をいく高品質・高機能製品の開発を進めています。



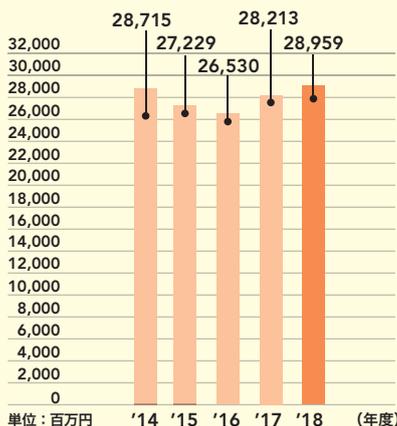
カブラ

44.1%

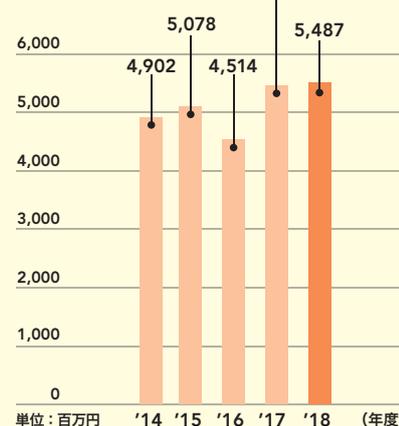
財務データ (連結決算指標)

財務データの詳細は、当社ホームページをご覧ください。 <http://www.nitto-kohki.co.jp/ir/library/>

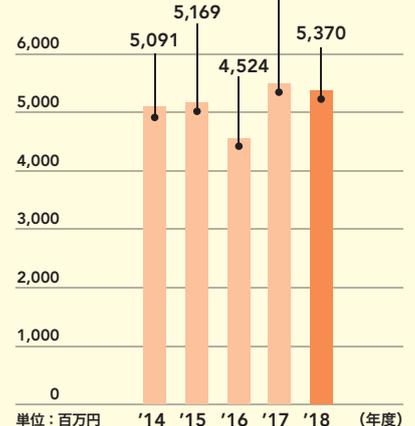
売上高 (連結)



営業利益 (連結)



経常利益 (連結)



※財務データに関する記述は発行日時点での情報からの予測であり、実際の業績などは予測と異なる可能性があります



コンプレッサ&ポンプとその応用製品 (リニア)

日東工器が世界で初めて実用化した製品「リニア駆動フリーピストン方式ポンプ」を中心に、各種コンプレッサ&ポンプを揃えています。

これらの技術を応用し、医療・家庭向けのユニークな応用製品を展開しています。

その用途は、産業機器をはじめさまざまな分野へと拡大しています。



省力化機械工具と電動ドライバ (ツール、デルポ)

機械工具「ツール」は、さまざまな加工現場で、その加工形態・作業状況の多様化に合わせ、空圧・電動・油圧を駆動源とした製品群を準備しています。

パワーアップと小型化という不変のテーマに挑戦し続け、常にお客様ニーズの一步先の要求対応を追求しています。

電動ドライバ「デルポ」は、高精度トルク管理と使いやすさなどを実現した信頼のブランドとして、世界中の精密機器分野の組立作業現場で、幅広く使用されています。



オートヒンジ

8.1%

リニア

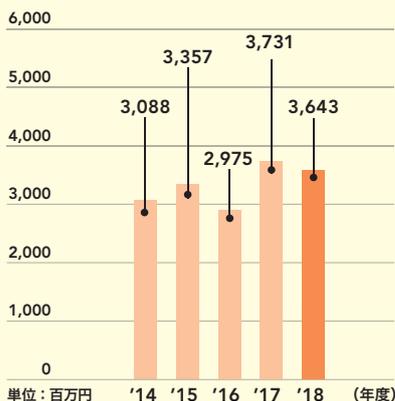
14.5%

ツール、デルポ

33.3%

4分野売り上げ構成比
2018年度実績

当期純利益 (連結)



総資産 (連結)



会社概要

商号	日東工器株式会社
設立年月日	1956年10月22日
本社所在地	東京都大田区仲池上二丁目9番4号
資本金	18億5,032万円 (東証一部上場: 機械)
従業員数	単体 416人 (連結 937人)
ISO9001認証の取得年月	1997年12月
ISO14001認証の取得年月	2004年5月
国内グループ会社	3社 栃木日東工器株式会社 白河日東工器株式会社 株式会社メドテック
海外グループ会社	6社 アメリカ、ドイツ、タイ、 オーストラリア (2社)、中国 (2019年3月31日現在)

Chapter 2 | 社会への取り組み

Part

1

お客様への製品提案活動を通して環境負荷の低減を行います。

お客様とともに

日東工器グループは地球環境への貢献を目指し、「環境配慮製品」を含めた「提案型営業」を推進しています。

営業部門の取り組み

日東工器は、よりお客様に近い営業活動を目指し「環境配慮製品」の紹介をはじめ、「提案型営業」を積極的に進めています。

地域密着型の展示・実演・即売会の「アタックフェア」、当社と販売店との二人三脚で、お客様に合わせた製品の提案活動を行う「アタックキャラバン」、各種製品を備え付けたキャラバンカーでお客様に出向き、ミニ展示会を行う「出前フェア」を実施しています。各活動で行う「体感コーナー」では、製品を実際に見て・触れて・動かして、実感していただけます。

これからも、日東工器製品群とマーケットを熟知した販売

店で構成する、独自の全国販売・流通組織「日東会」と連携し、地域に密着したきめ細かな活動を展開し、社会との絆を大切に、お客様のためになる製品の普及に努めていきます。

2018年度実績

アタックフェア	17回
アタックキャラバン	78回 (133日)
出前フェア	342回

アタックフェア50周年

アタックフェア（「見て・触れて・動かす」販売展示会）が50周年を迎えました。

日東工器の製品を販売する全国販売流通組織「日東会」は、創業から10年目にあたる1966年に発足しました。その2年後の1968年に東京・大田区にて開催した「研究発表会」が、現在の「アタックフェア」の始まりです。

2018年度は、6月の「アタックフェアin大府」（愛知県）を皮切りに、全国17ヶ所で開催しました。企画展示なども用意して、ご来場の皆様に喜んでいただけるよう、さまざまな趣向を凝らしています。

「アタックフェア」の特徴

- ▶多くの製品を展示し、実演を見て、体験することが可能です。
- ▶相談コーナーや技術員を配置し、お客様のニーズに対応します。
- ▶新製品をはじめ自動化や省力化に対応した展示をしています。



携帯型吸引器を緊急提供

「キュータム (Qtum)」は、乾電池とコンセントのどちらの電源でも使用できる、小型・軽量の携帯型吸引器です。外出時や災害時など電源の確保が難しい環境でも、たん吸引が必要な患者様のために、開発されました。

2018年9月に発生した北海道胆振東部地震では、道内全域で停電が発生し、医療機関は大きな影響を受けました。東京本社の営業部員が空路の再開を待って、70台余りの「キュータム」と大量の乾電池を携え、北海道へ。札幌営業所員とともに、道内の6ヶ所の救急病院へお届けし、災害地域で苦しむ患者様、医療機関の皆様へ「キュータム」を役立てていただきました。後日、病院と苫小牧市から感謝状をいただきました。



市立札幌病院にて





Part

2

学生たちに日東工器の「モノづくり」に対する姿勢を伝えていきます。

学生との関わり

日東工器の採用活動では学生一人一人と理解を深め、ありのままの日東工器を知ってもらうことに重きを置いています。「インターンシップによる学生の受け入れ」、「働く現場説明会」など、学生との触れ合いを通じてモノづくり産業に貢献しています。

会社説明会から入社まで

機械工具業界では知名度の高い当社ですが、就職活動中の多くの学生は「日東工器」を知りません。そのため当社は、日東工器と学生一人一人との「相互理解」を重視しています。

学生の皆さんには、単に「良い会社」ではなく「自分に合う会社」を選んでほしいため、会社説明会では事業内容や製品だけではなく、「社是」「経営方針」「スローガン」についても説明します。

面接は少人数単位で実施します。また、最終面接後に人事担当者と面談を行い、お互いにしっかりと理解を深めたこと

を確認して正式内定します。

機械メーカーである当社は、内定式の代わりに国内生産グループ会社の3工場見学会を実施します。内定者には「モノづくり」に対する真摯な姿勢を理解してもらうことで、モノづくりメーカーに入社する心構えを醸成しています。

当社は、採用する学生一人一人の定着と活躍を見据えて、「相互理解」を重視した採用活動を実施しています。



インターンシップによる学生の受け入れ

日東工器は、大学生・大学院生を対象とした1Dayインターンシップを、2018年度は8月～9月に計3回実施しました。従来は理系学生のみを対象としていましたが、文系学生向けにも実施し、合計29人が参加しました。

当日は、モノづくりメーカーへの理解を深めてもらうために、会社紹介・社内見学・製品説明以外に、実際の製品にも数多く触れる機会を設けました。

また、さまざまな部署の社員との座談会も実施。学生がインタビューとなって社員の仕事内容を取材し、当日の総括としてグループ発表しました。

当社で働く社員の話を聴くことで、モノづくりメーカーで働くことへの理解も深まったようです。学生からは「もっと時間がほしかった」「もっと日東工器について知りたかった」など、好意的な感想が多く聞かれました。

当社は、独自の切り口でインターンシップを開催し、「日東工器をより深く学生に知ってもらう機会」と捉えています。



Part 3

社員とそのご家族が安心して暮らしていけるように、より良い職場環境を目指します。

社員および家族との関わり

日東工器グループは、社員の皆さんが安心できる職場づくりに力を入れています。社員向け決算説明会や家族参観日、社員向けライフプランセミナーなどを通じて会社を理解していただき、信頼される企業を目指しています。

第7回家族参観日

「次世代育成支援」の一環として、日東工器では「家族参観日」を実施しています。「家族参観日」は、次の3点に主眼を置いています。

- ① 子どもたちの勤労観や職業観を育む
- ② 内定者家族を含む幅広い世代の家族に、当社と仕事を理解していただく
- ③ 仕事と子育てを両立しやすい職場環境づくり

第7回となる2018年度は、子ども・大人共通のプログラムで「製品紹介」「社内見学」「燃料電池自動車MIRAIの紹介」を行い、お父さん・お母さんの働いている会社のことを知ってもらいました。

また、子ども向けプログラムでは、楽しい思い出となる「工作」「スタンプラリー」「デスク訪問」などの体験も用意しました。当社製品が、ディズニーランドでも使われていることを伝えると、親近感を持ってくれました。

参加者からは「家族が働いている職場を実際に見て、安心しました」「楽しかったので来年も参加したい」といった声をいただきました。



メドテック家族参観日

2018年度の「メドテック家族参観日」には、6世帯20人が参加しました。

参観日イベントでは、従業員以外の家族と子どもたちで、「間伐材を利用した扇子作り」や「光るクラゲ作り」を行いました。最初は緊張していましたが、徐々に子供たちのコミュニケーションが活発になり、工作をとっても楽しんでいました。

今回の工場見学では、従業員が自分の家族に職場紹介や、工場全体の案内をしました。当初工場という場所に良い印象は持っていなかったようですが、今回の見学で明るく・きれいな職場環境であることに驚いていました。また、アトラの穴あけを実演し、参加者全員が工場で作っている製品を真剣に見つめていたことが印象的でした。



ライフプランセミナー

50歳以上の社員を対象とした「日東工器グループライフプランセミナー」を2018年10月に開催しました。今回から配偶者の方も参加可能となり、合計26人参加しました。定年後の生きがい・マネープランなど、日常あまり触れない情報が満載で、参加者はとても熱心に聴いていました。参加者からは「今後を考える良いきっかけとなった」「あと数回参加して深く理解したい」といった感想が寄せられました。

今後も、定年後のライフプランに役立つセミナーを企画します。



社員向け決算発表会

日東工器は年2回、経営層による社員向け決算発表会を本社で開催しています。2018年度は5月に「2017年度決算」、11月に「2018年度中間決算」の社内決算発表会が開催されました。担当取締役から、日東工器グループの連結決算につい

て、売上高・利益・トピックスなどが報告されました。

日東工器は、グループ全体の業績・活動など最新の情報を経営層が自分の言葉で社員に伝えることで全社一体となり、事業活動を行っています。

「社員会」活動紹介

日東工器には労働組合はありませんが、社員を代表して会社側と職場環境の向上や労働条件などを協議する「社員会」があり、組合に相当する活動を行っています。社員会と会社は毎月1回、定例協議会を実施します。協議会を通じて社員の意見を会社側に発信し話し合いを行っています。

近年の社員会要望は、処遇改善に加えて育児や介護など

ライフステージの変化を迎えた社員が働き続けられる「職場の環境整備」へと変化しています。少数の社員の意見も取り上げ会社と協議する社員会の存在は、社員の定着率の高さにもつながっています。

時代に即したさまざまな改善・取り組みを通じ、健全で活気ある職場づくりを社員会・会社が協力し推進しています。

日東工器創立記念式典

創立62周年の記念式典を、2018年10月22日に開催しました。式典では、社長からメッセージが伝えられ、活躍する社員に以下の各賞が授与されました。

- ①優れた開発・発明に贈られる「発明報償表彰」
- ②改善提案活動に贈られる「改善提案賞」
- ③新製品のアイデアに贈られる「未来の実表彰」
- ④勤続10年目、20年目の社員に贈られる「永年勤続表彰」
- ⑤自動車運転無事故無違反者に贈られる「安全運転表彰」
- ⑥東京消防庁からの表彰として「地域社会の救命技術の維持向上への貢献に対する感謝状」



Part

4

地域の皆様と良好な関係を築き、社会に貢献します。

地域との関わり

日東工器グループは地域の皆様と良好な関係を築き、ともに成長していきたいと考えています。今後も事業活動に加え、さまざまな活動を通じて地域や社会に貢献していきます。

「第18回 エコフェスタワンダーランドin大森 ～地域から考える地球の未来～」

2019年2月、今回で18回目となるエコフェスタが大田区立大森第五小学校で開催されました。エコフェスタとは、毎年大田区主催で区内の小学校において、地域の団体・企業などが環境をテーマにした工作や展示などを行い、子どもたちに楽しく環境に触れてもらいイベントです。日東工器は9回目の参加となり、恒例となった松ぼっくりのミニクリスマスツリー、自然の材料を使ったリース作り体験を実施しました。

当日は春を思わせる暖かい気候での開催となり、ブースには大勢の人に来ていただきました。子どもたちを含む参加者は、自分ならではの飾り付けや色付けを行い、色とりどりのツリーやリースを作り楽しんでいました。完成した作品を手に、親や友達と一緒に喜んでいる姿はとても印象的でした。中には、1日に何度もブースへ足を運んでくれる子どもたち、ツリーとリース作りの両方を体験してくれる子どもたちもいました。子どもたちには、自然に触れながらモノを作る楽しさを学んでもらえたと思います。

これからも大田区の一員として地域に協力し、愛される企業を目指します。



森林保全活動inみはらしの丘

2018年10月、リコージャパン株式会社山形支社主催の「第1回森林保全活動」が開催されました。メドテックからは11人参加し、総勢約70人が活動しました。活動の目的は、住宅地などの周辺環境保全のための森林（もり）づくりの一環として、遊歩道を整備し、周辺住民の憩いの場や小学生の課外活動で活用できる場をつくることです。

今後も、森林保全と地域貢献のため、活動に参加していきます。



「平成30年度多摩川河川敷清掃活動～グリーンアクションたまがわ～」に参加

2018年5月、「多摩川河川敷清掃活動～グリーンアクションたまがわ～」に参加しました。この活動は1970年から大田区が主催していて今回で49回目。大田区内の自治会・町内会・団体・企業・地域住民が参加し、活動しています。

日東工器も地域社会への貢献として、毎年参加しています。今年は、役員・社員（総勢22人）が参加。すがすがしい陽気の中、参加者の皆さんと一緒に河川敷の清掃活動を行いました。

今後は会社の近隣地域だけでなく、いろいろな地域のボランティアに参加し地域社会への貢献を続けていきます。



「鬼怒川・小貝川クリーン大作戦」

2018年7月、国土交通省河川事務所主催で第28回目となる「鬼怒川・小貝川クリーン大作戦」が開催されました。

栃木日東工器は、地域環境活動の一貫として10回目の参加で、早朝7時から社員29人が参加しました。

天候に恵まれ、地域の方と協力してゴミの収集を行いました。毎年の活動のおかげで、年々ゴミが減少しており、確実な効果を実感することができました。

今後も地域の方と協力し、環境に優しい社会づくりに貢献していきます。

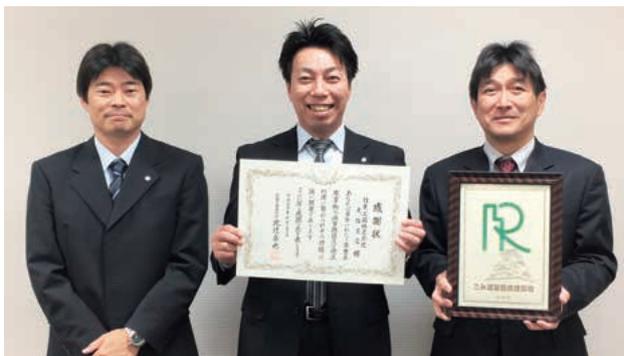


大阪支店が「ごみ減量」活動で表彰

大阪支店は、廃棄物の削減および資源化への取り組みが評価され、大阪市環境局長から感謝状と「ごみ減量優良建築物標章」が授与されました。

おむね2年に1回、大阪市職員による建築物への立ち入り検査が行われ、優秀な功績を挙げている建築物に「ごみ減量優良標」が5回以上連続、または通算して6回以上贈呈された建築物には大阪市から「ごみ減量優良建築物標章」が授与されます。

今後も、あらゆる側面から人を想う活動を心掛け、社会貢献を続けていきます。



名古屋支店の防災訓練

名古屋支店は、例年行う社内防災訓練に代えて、名古屋市港防災センターにて防災体験を行いました。

体験内容は、地震体験・台風体験・煙避難体験の3種類。3種類とも模擬的な訓練とは理解していても、思わず恐怖を感じます。

煙避難体験の中で、避難行動の基本「お・は・し・も」^{*}の話がありました。このような「避難行動の標語」は、個人や世代によって認識がまちまちです。

一度、周囲の方々と確認し合ってはいかがでしょうか。

^{*}「お・は・し・も」：お…押さない は…走らない し…しゃべらない も…戻らない



Chapter 3 | 環境への取り組み

Part

1

環境と人に優しく、持続可能な経営を実現させます。

日東工器が目指す環境経営

ISO9001および14001を基に、製品開発・生産・営業活動・輸送・サービス活動など全ての業務活動において、環境と人に配慮し、顧客満足向上を図り、持続可能な経営を推進していきます。

Part

2

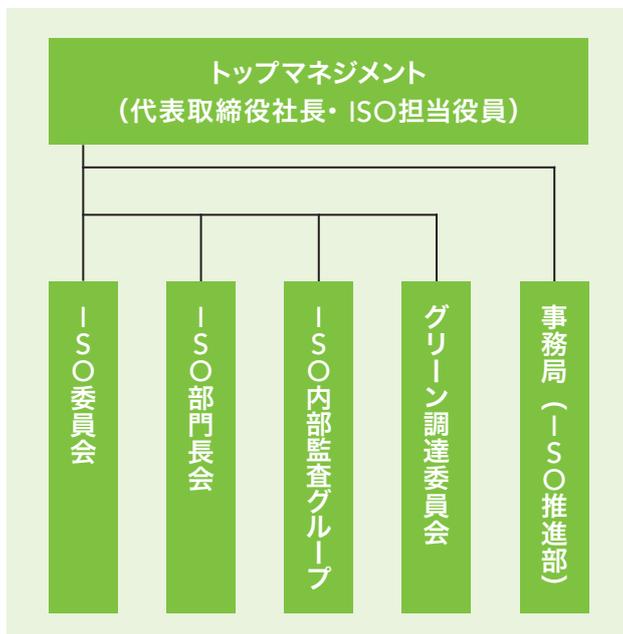
地球環境への負荷低減、顧客満足向上を重要課題とし、積極的に取り組みます。

品質・環境方針 品質・環境マネジメントシステム

品質・環境方針〈ISO9001・14001〉

- ①日東工器株式会社は、全従業員一人一人がISO（品質および環境マネジメントシステム）を有効に活用し、迅速流体継手「カブラ」、機械工具（空圧機器／油圧機器／電動機器）、空気圧縮機・ポンプおよびそれらの応用製品、建築機器（ドアクローザ）などの製品設計から販売までの業務および、それ以外全ての業務において製品品質保全を包括した顧客満足向上、環境保全に努めます。
- ②環境配慮の製品設計、グリーン調達・購入、省資源・省エネルギー、リサイクルの促進、廃棄物の削減などに取り組み、環境汚染の予防に努めます。
- ③企業活動における順守義務事項を順守します。
- ④品質および環境目標を設定し、運用し、定期的に内部監査・マネジメントレビューを行い、事業活動と整合した活動として品質および環境マネジメントシステムを継続的に改善します。
- ⑤企業活動における業務プロセスを明確化し、業務改善を図ります。
- ⑥この方針は文書化し、全従業員に周知徹底するとともに、社外からの求めに応じて公開します。

品質・環境マネジメント体制



品質・環境マネジメントシステムの運用

- ①ISO部門長会議：1回/年
次期ISO組織と役割・年間計画・ISO内部監査結果などの伝達を行います。
- ②ISO委員会：1回/月
各部門実績報告より、目標に対する進捗状況確認・年間計画の実施・各部門へ周知事項の伝達などを行います。
- ③ISO内部監査：2回/年
ISO9001/14001規格対応状況・業務における有効性・業務活動自体の効率性・弱点または優れた点を顕在化させ、改善を図ります。
- ④マネジメントレビュー：2回/年
経営企画室長およびISO管理責任者が、「ISOマネジメントレビュー報告書」を作成し、トップマネジメントへ活動総括を報告します。
トップマネジメントは、報告書でISO活動の定期レビューを実施します。



Part
3

環境と人に優しい安全性を追求します。

製品含有化学物質への取り組み

日東工器は、環境法規制順守・グリーン調達・製品含有化学物質調査・社員の環境教育などを通じて、より安全な製品を生産する仕組みを構築しています。

環境に関する法規制順守状況

日東工器で制定した「グリーン調達基準」の全製品対応において、一部製品に規制値を超えた含有が確認されました。

この対応処置の詳細は、当社ホームページに公開しています。その他、環境に関する法令違反・指導・苦情はありません。

グリーン調達

日東工器は、品質や価格だけでなく環境にも配慮します。環境負荷が小さい材料・部品・資材などを、環境負荷の軽減に努める仕入れ先様から、優先して購入する取り組みを実施しています。

2018年度の活動では、RoHS(II)指令のフタル酸エステル類への対応として、一部の部品を除き品質評価を実施した代替材料への切り替えを行いました。同様に、鉛の適用除外用途改正に伴う各種材料代替対応を、各製品群別に準備開始しました。

① グリーン調達方針

グリーン調達方針は、方針を定める目的・適用する範囲などを制定し、日東工器に関わりのあるさまざまな人に開示して、日東工器の企業姿勢を表明しています。

これら対応の一部例外事項については、対応状況を当社ホームページ上でお知らせしています。

② グリーン調達基準

生産活動に関わる仕入れ先様に、日東工器のグリーン調達の考え方と、対応順守の要請を行う基準です。本文と管理化学物質リストで構成され、仕入れ先様は日東工器のホームページからダウンロードできます。2004年に制定し、2019年4月現在9.0版を開示しています。

④ 日東工器の製品含有化学物質調査

JAMP^{※1}に会員として加盟し、2018年度は「AIS」「MSDSplus」^{※2}による調査管理を行っています。同様に仕入れ先様にも「AIS」「MSDSplus」による調査管理を依頼し、実施管理していただいています。今後、「chemSHERPA」^{※3}での管理へ移行をしていきます。

③ グリーン調達委員会

グリーン調達活動を推進することを目的とした組織です。商品事業部・生産事業部・各生産拠点から委員が出席し、毎月グリーン調達活動におけるさまざまな議案を討議しています。

※1 JAMP (アーティクルマネジメント推進協議会)：化学物質情報を適切に管理し、円滑に開示・伝達する仕組みをつくり普及させるために発足した、製造業界横断の活動推進団体

※2 「AIS」「MSDSplus」：JAMPが作成した化学物質情報伝達ツール

※3 「chemSHERPA」：経済産業省が作成した化学物質の情報伝達ツール「AIS」をベースに国際規格IEC62474に準拠している

環境教育の実施状況

2018年度の日東工器およびグループ各社の環境教育実施状況です。今後もさまざまな観点より、必要教育を実施します。

内訳	日東工器		栃木日東工器		白河日東工器		メドテック	
	開催教育数	延べ受講人数	開催教育数	延べ受講人数	開催教育数	延べ受講人数	開催教育数	延べ受講人数
合計	84回	1,267人	33回	356人	7回	122人	6回	160人
環境役割者教育	13回	81人	0回	0人	0回	0人	0回	0人
環境外部セミナー	2回	12人	0回	0人	2回	2人	0回	0人
専門教育	2回	6人	9回	78人	1回	1人	3回	3人
新人環境教育	8回	30人	2回	7人	0回	0人	2回	2人
環境一般教育	54回	775人	18回	233人	2回	13人	0回	0人
緊急事態訓練	5回	363人	4回	38人	2回	106人	1回	155人

Part
4

省エネ・省資源に努めCO₂ 排出量を削減していきます。

地球温暖化対策・廃棄物の削減

日東工器は環境方針に則り、リデュース・リユース・リサイクルの推進を通して、コスト削減と環境保全を両立し、地球温暖化防止のため省エネ・省資源への取り組みを推進しています。

地球温暖化防止に向けた活動

●地球温暖化防止に向けた活動

日東工器はこれまでに、環境に配慮した製品の開発、電力の削減、燃費の改善、ペーパーレスの取り組み、資源のリサイクルなど、さまざまな取り組みを行ってきました。

一つ一つは小さな効果ですが、それらを積み重ね少しでも地球環境改善に貢献できるよう、各部門で目標を設定し、活動を続けています。

●CO₂排出量

2018年度の日東工器CO₂排出量の実績は、878tとなり前年度に比べて37t増加しました。日東工器のCO₂排出量の割合は、電力によるものが約73%、自動車用の燃料が約18%と、この2つで約91%を占めています。

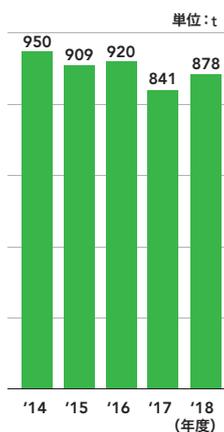
なお、CO₂以外の温室効果ガスについては、排出していません。(図1参照)

●電力使用量

2018年度の日東工器の電力使用量は、1,878kWhと前年度に比べ103kWh増加しました。実験設備の稼働状況と、夏の暑さなどによるものです。(図2参照)

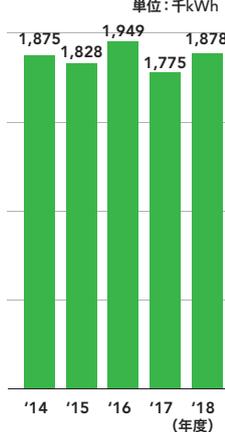
CO₂ 排出量の推移

(日東工器) (図 1)



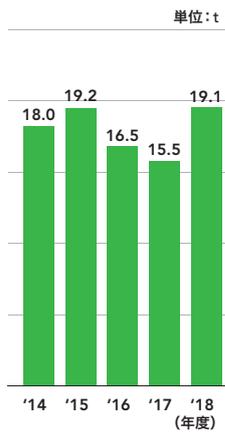
電力使用量の推移

(日東工器) (図 2)



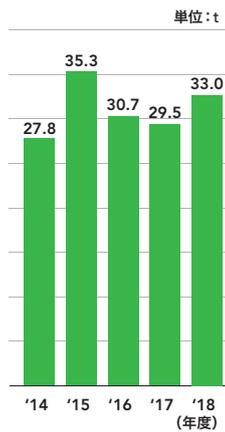
廃棄物排出量の推移

(日東工器) (図 3)



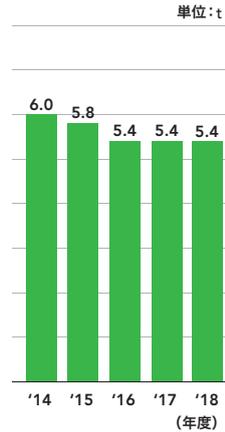
紙類リサイクル量の推移

(日東工器) (図 4)



コピー用紙使用量の推移

(日東工器) (図 5)



～輸送における環境活動～プラスチック廃棄物削減への取り組み

近年深刻な海洋汚染の影響を受け、欧米を中心に世界各国で使い捨てプラスチックに対する規制が急速に進んでいます。日東工器グループは、2018年12月からお客様へ出荷時の輸送用パレットについて原則としてプラスチック製を廃止し木製パレットに切り替えました。今後も日東工器グループでは環境に配慮した企業活動を推進していきます。

Part
5

環境負荷の低減を目指し、環境への影響の「見える化」を、継続的に取り組んでいきます。

環境への影響について

日東工器の国内拠点において、2018年度に投入したエネルギー量・水資源量・原材料その他購入品の量と、排出した環境負荷量・廃棄物量・リサイクル量および製品として出荷した量は以下のとおりです。

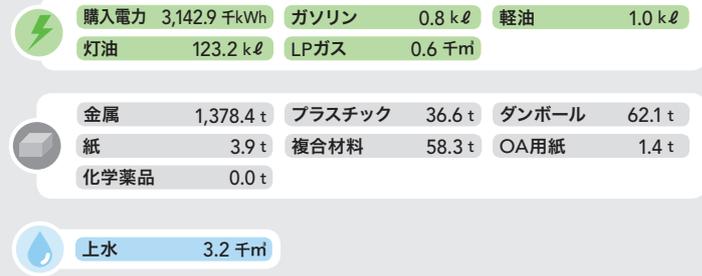


INPUT

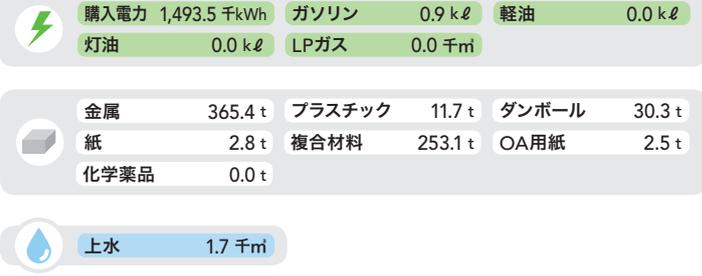
日東工器株式会社



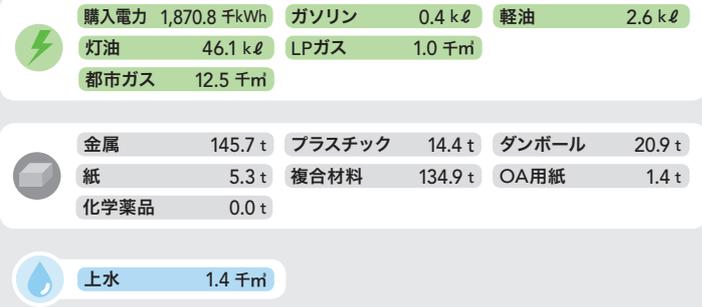
栃木日東工器株式会社



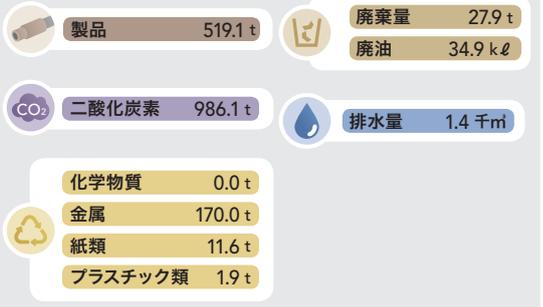
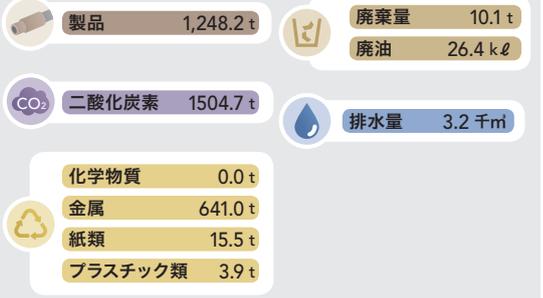
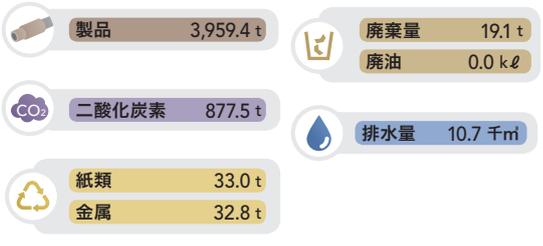
白河日東工器株式会社



株式会社メドテック



OUTPUT



Part
6

独自の技術と設計で皆様の環境保全に貢献します。

製品開発

日東工器は開発面でも環境貢献に力を入れています。環境配慮設計 (DfE=Design for Environment) 評価の採用もその一つです。今後も独自の技術開発で環境保全に努めます。

自社製品コンセプト

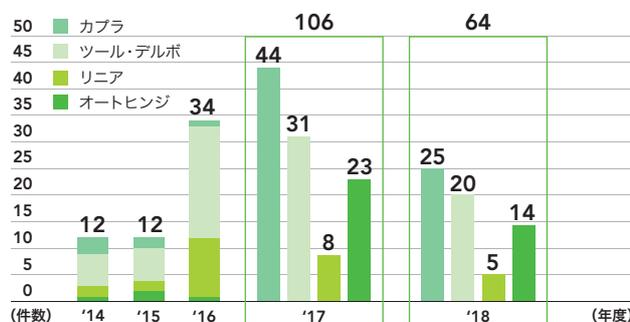
日東工器は創業から半世紀余にわたり、一貫して人間に焦点を当て、独創的な技術を活かしたモノづくりを行っています。当社製品が目指してきたのは「産業界の省力・省人化、作業環境の改善」であり、使う人の立場で社会に貢献し続けることです。

今日では「カブラ」、「ツール・デルボ」、「リニア」、「オートヒンジ」の4事業でさまざまな製品を世の中に送り出し、いずれも高い評価をいただいています。

環境配慮設計

日東工器で、新製品や改良製品を設計する際に取り入れているのがDfEです。DfEとは、開発段階からお客様の製品廃棄時までを通じた各段階で、環境負荷をできるだけ低減する設計のことです。

2016年度からは、既存製品についてもDfE再評価を実施しています。DfEを2004年度から導入し、2018年度までの15年間で累計378件の環境配慮製品を開発・改良・再評価しました。



モノがたり

大流量化実現により配管の冷却効率向上に貢献 コンパクトゼロスピルカブラ

「コンパクトゼロスピルカブラ」は、スーパーコンピュータなどの電子精密機器の冷却配管用途で、近年求められる「小型」・「液だれ低減」・「大流量」の3つの機能を全て兼ね備えた製品です。従来は特注品として専用対応していましたが、多くのお客様からの要望（納期・価格・サイズ）を満たす「コンパクトゼロスピルカブラ」を標準化しました。製品開発の苦労話を紹介します。

製品開発で最も重視した点は「大流量」です。大流量化を図るため、従来にはない異形コイルスプリングの設計・流体解析ツールを使用した最適な流路設計などを実施しました。その結果、当社主力製品のSPカブラTypeA同サイズ品と比較して、外径が33%小さくなったにもかかわらず、流量を20%アップさせ、「小型」・「大流量」機能を有する製品を実現しました。

製品開発で苦労した点は、電子精密機器で使用する際に必要な「長期連続運用に耐える品質の確保」です。そのため、新たにさまざまな評価を実施し、その過程で多くの課題が顕在化しました。それらを解決するため、シール部のゴム形状の変更・表面処理の模索など、いろいろな角度から課題解決

方法を検討しました。多くの試行錯誤を繰り返す中で、「ゴムに知見のある大学のサポートを得る」など新たな試みも行い、納得できる品質レベルを有する製品が完成しました。

また製品の完成は、部品のコスト・品質に関する仕入れ先様の協力・生産工場の新規組立設備導入対応など、多方面からの協力をいただけたおかげです。

「コンパクトゼロスピルカブラ」が、多くのお客様の満足を得られることを期待しています。



手動マルチカプラシリーズに 液だれ低減型のラインアップ追加

マルチカプラ「MAM-A-ZEL型」

マルチカプラ「MAM-A型」は、1回の接続操作で複数の配管を同時に接続できるため、複雑な配管作業を短縮・効率化する製品です。また、配管ごとに接続ポートが割り当てられているため、複数配管の誤接続を防ぐことができます。採用例として、自動車工場や工作機械の冷却用水用配管など、多岐にわたって使用されています。

今回新たなラインアップとして追加されたマルチカプ



ラ「MAM-A-ZEL型」の特徴は、独自の液だれ低減バルブ構造により、接続・分離時の空気混入と液だれ量を低減できることです。液だれや空気混入が低減することで、床面などの作業環境が清潔に保たれ、作業中のスリップリスクが低減します。また有害な液体の流出防止にも大きな効果を発揮します。その結果、複合的に職場の作業環境の安全性が高まります。

主要浄化槽メーカーの自動逆洗式浄化槽に対応

自動逆洗式メドープロワ「LAG-80E」

自動逆洗式メドープロワ「LAG-80E」は、自動逆洗式機能を持つ浄化槽専用のブロワです。主要浄化槽メーカーの作動プログラムが制御回路に組み込まれているため、主要メーカーの自動逆洗式機能を持つ浄化槽に対応します。内蔵ポンプは、業界唯一の「リニア駆動フリーピストン方式」を採用し、長寿命・低作動音を実現しました。また消費電力は、当社従来製品比で約16%削減しました。

主な特徴

- ① リニア駆動フリーピストン方式
- ② 長寿命・低作動音
- ③ 省電力構造で電気代節約、CO₂削減に貢献
- ④ クリーンエア、オイルレス構造
- ⑤ アース工事不要
- ⑥ トラッキング防止電源プラグ採用



シリーズ最小・最軽量モデル

空気式小型ベルトサンダー「ベビーベルトンBB-10B」

「ベビーベルトン BB-10B」は研磨ベルトで主に鋳物、ダイカスト、プレス板金部品のバリ取り作業を行うための工具です。「BB-10B」は、女性でも作業しやすいよう小型軽量化に特化したモデルで、バリ取りなどの軽研削作業に最適。左右対称で握りやすい形状と、手元の切替レバーで研磨ベルトの正転と逆転の切替が可能のため、利き手の違いにかかわらず快適に作業できます。また、空気消費量も従来製品より低減され、製造現場の省エネルギー化に貢献します。

主な特徴

- ① 本体重量500gの小型軽量モデル
- ② 長時間の作業でも疲れにくいスリムな形状
(当社従来製品比：約10%小型化/幅・周長とも)
- ③ クラス最少の空気消費量で省エネルギー
(当社従来製品比：約20%削減)
- ④ 切替レバー操作で、容易に研磨ベルトの回転数調整・正転逆転切替が可能



Part

7

安全・品質・環境に配慮し、より効果的な取り組みを目指します。

生産部門の取り組み

メーカーである日東工器にとって、生産現場での改善活動と環境への取り組みは非常に重要です。多岐にわたる製品を生み出す生産拠点で、どのような取り組みが行われているのか、国内外の主要な生産拠点を例にとって説明します。

生産改善小集団活動成果発表会

日東工器グループでは、毎年、国内外生産会社4社の小集団活動優秀チームが日東工器に集まり、生産改善活動成果発表会を開催しています。

各生産会社は、活動の成果が品質の向上や生産合理化につながることを目指し、主要生産製品の加工・組立作業中の不具合低減・生産性向上（機械停止時間短縮）などの改善活動に、積極的に取り組んでいます。

また、生産合理化や作業高効率化と同様に、現場で作業を行う従業員の負担やストレスを低減すること・作業の安全率を高めることも、有効な改善と考えています。

近年は、無人稼働時間延長・検査時間短縮・組立作業装置の改良などによる、省力化・省エネルギー化につながる生産改善内容が増えています。

生産会社は、創意工夫を凝らした独自の改善活動を行うことで、人と環境への負荷軽減に努めています。



仕入れ先様への事業計画発表会開催

2018年6月、宇都宮市で日東工器グループ合同中期事業計画中間発表会を開催し、135社・161人の仕入れ先担当者様にご出席いただきました。

発表内容は、日東工器グループの2017年度実績・2018年度事業計画・中期事業計画中間発表・環境関連実績ですが、今回は特にRoHS指令の適用除外^{*}対応について力点を置いて説明しました。

また、品質・納期対応などの優れた仕入れ先様に感謝状を贈呈しました。

日東工器の製品品質は、製品含有化学物質管理を含め、仕入れ先様のご協力の上で保たれています。



^{*}RoHS指令適用除外：RoHS指令の禁止物質の中で、技術的に代替が可能な使用用途について、決められた期限までは禁止物質の含有が許容されること。今回の対象物質は鉛。

栃木日東工器の生産改善

栃木日東工器では、2018年12月に新事務所棟が完成しました。事務所としての専用設計ならびに最新の省エネ設備を採用し、エネルギー消費を効率よく抑制できます。

完成以前は、長期にわたる生産量増加に伴う生産ラインの複数工場棟への分散が影響し、生産効率に改善の余地がありました。また事務部門や会議室も、工場としての使用目的で設計された第6工場に暫定配置していたため、エネルギー効率もムダが多い状態でした。

新事務所棟の完成により事務部門や会議室は移動し、本来生産に使用すべき第6工場にスペースが確保でき、全体最適へのレイアウト変更が可能となりました。その結果、生産

ラインの分散は解消し、生産品目ごとの管理部門が各工場1棟に集約できたことで、生産効率・エネルギー効率ともに改善されました。

栃木日東工器の生産体制は現在考えられる最適な状態になりましたので、今後は自動化・省力化設備をさらに導入し、エネルギー効率が良い深夜電力なども利用した省エネで24時間稼働可能な工場を目指します。



メドテックの生産改善

メドテックは、環状刃物（ジェットブローチ・ハイブローチ・ミニブローチ）の外径研磨加工用円筒研削盤の設備更新と、省人化・生産性向上を目的とした自動供給排出装置を自社で設計・製作しました。

環状刃物の外径研磨加工は形状的に自動化が難しく、製造工程で唯一手作業が必要でした。さらに、加工時に発生するオイルミスト^{※1}により、作業員への身体的影響と、床面ミスト汚れで足を取られるなどのリスクも抱えていました。

そこで、加工設備と装置を見直し、自動化して無人稼働・夜間自動稼働による生産性の向上に加え、オイルミスト対策やペーパーフィルター^{※2}レス化などで、作業環境を改善しました。

今回は設備製作を、外部委託せずに設計から製作まで自社で行い、コスト低減だけでなく技術者自身の能力向上にもつながりました。

※1 オイルミスト…微粒子化して空気中に浮遊している油。
※2 ペーパーフィルター…研削加工時に発生する研削屑や砥石の摩耗粉を除去するためのフィルター。



白河日東工器の生産改善

2018年度は、社内作業の工数低減・品質向上を目的に、3項の改善活動を行いました。

- ①老朽化した工作機械の更新導入
- ②加工部品材料自動供給装置の製作設置
- ③ドアクローザの自動検査設備の社内製作

これら改善活動の結果は、以下となります。

- ①加工設備の老朽化により、設備の故障停止やメンテナンス作業が増え、必然的に生産台数減につながります。そこで、定期的に新規設備を導入し、生産台数確保・修繕費用低減・加工時間短縮・品質確保を可能にしました。
- ②加工部品材料自動供給装置の導入は、運転待ち時間の短縮と省人・省力化につながるだけでなく、作業中の事故防止対策にもなりました。類似設備への展開も図れます。
- ③ドアクローザの自動検査設備は、検査工数低減と製品品質・性能の数値管理が可能となり、品質データ管理体制が整いました。また、将来的には組立・製品検査工程の自動化を見込むことができます。



海外環境データ

海外生産グループ会社のCO₂排出量と電力使用量

NKAM (オーストラリア)	CO ₂ 排出量	89t
	電力使用量	166千kWh
NKIT (タイ)	CO ₂ 排出量	1,091t
	電力使用量	2,437千kWh

緑の中の本社・研究所で省エネとともに環境への意識を育みます。

オフィスの取り組み

本社オフィスは、空調管理に省エネルギー技術を採用しています。自然の力をうまく取り入れることによって、環境に負荷をかけることなく、1年を通じてオフィス内を快適な状態に保つことができます。オフィスでの取り組みを紹介します。

日東工器本社



日東工器の本社社屋はさまざまな環境への配慮により、建物総合環境性能評価システム (CASBEE) で最上級の「S」ランクを実現しました。

社屋の環境対応を紹介すると、オフィスには大開口のペアガラスを採用し、日中は外光を取り入れながら熱の出入りを押さえることで、節電につながります。

建物外観の大きな特徴となっているルーバー（電動外部ブラインド）は壁面の放射熱を約90%もカットし、省エネルギー化に貢献します。

オフィスの空調は、天井に設置したアルミ製の放射空調パネルで行います。冷房はパネルに冷水を流し、冷気でオフィス内を快適な温度に保ちます。加えてアンダーフロア空調という床下から空調も導入しました。涼しい季節は、空調を停止して、窓際の天井部分と網戸で自然換気を行っています。従来方式の空調に比べて30%程度も省エネ効果があります。

社屋の給水システムでは、雨水を地下貯水槽に溜め、トイレの排水用に利用しています。その効果で、本社の上水道の使用量は通常より40～50%も削減できます。

廃棄物減量活動表彰

2017年11月、事業活動により排出される廃棄物の分別・処理を積極的に取り組んだ「事業用大規模建築物」として、日東工器本社が大田区から表彰されました。

2017年度に、大田区が立ち入り調査を行った約100社の中から、廃棄物の減量・適正処理とリサイクルの推進などが特に顕著な実績を挙げている事業者5社として選ばれました。

さまざまな廃棄物に対して、種類ごとの分別ルールを作り、従業員一人ひとりが分別を実施・継続した結果が、今回の表彰へとつながりました。

今後も、本社以外の支店・営業所を含め、廃棄物の減量・適正処理に努めます。



生物多様性への取り組み

日東工器グループは社会や地域の皆様とともに、成長する企業でありたいと考えています。

自然との関わりや、ボランティア活動を通じて社会や地域に貢献し、皆様に信頼され、良好な関係を築いていくために、さまざまな活動を行っています。

「やまがた絆の森プロジェクト」に参加



2018年度も山形ゼロックス株式会社主催の「やまがた絆の森プロジェクト」に参加しました。

メドテックからは親子7人が参加し、総勢70人での活動となりました。

午前中は、「除伐・枝打ち作業」と「森の健康診断」を行いました。小雨が降る天気でしたが、大人も子どもも全員ノコギリを持ち、枝打ちをしました。作業の合間にワラビなどの山菜を取りながら、森は1時間程度できれいに整備されました。切り出した間伐材は金山町の薪ステーションで、地域で使える商品券に交換してもらいました。

子どもたちは枝打ち作業後に、植樹して9年目になる杉の樹高と幹の太さを測る「森の健康診断」を行いました。

昼食は、山形の「県の魚」で庄内地方の伝統的な「サクラマス」の料理をいただきました。サクラマスは、川から海に下り、また産卵のために川に帰ってくる魚です。森と海とのつながりや生態系と地域の伝統を学ぶ食育を行いました。

午後は、「間伐材と交換した商品券を、どんな用途に・誰に使ってほしいか」をテーマに、みんなで話し合い、それぞれ発表を行いました。

自然豊かな山形県でも、自然と触れ合う機会は少なくなってきました。「子どもには、自然に触れ合い考えることで、自然を大切にする気持ちを持ってもらいたい」との思いから、メドテックも毎年参加しています。これからも、自然・環境に関わる活動を続けていきます。



技術で、人を想う。

約60年間にわたって培ってきた技術力や、高品質への信頼に加えて、今後はより画期的な製品開発やサービスの提案が必要とされています。こうした時代の中で、私たちは「ユーザーの立場に立って考え、行動すること」を今まで以上に大切にしていきます。

日東工器 社会・環境活動関連年表

	活動	区分
1956年	日東工器株式会社設立	—
	省エネ・省人化製品（エアマイクロメーター・カブラ）製造開始	環境製品
1958年	省エネ・省人化製品（ツール）製造開始	環境製品
1973年	省エネ・省人化製品（リニア）製造開始	環境製品
1997年	日東工器株式会社ISO9001認証取得	ISO9001
2000年	省エネ・省人化製品（オートヒンジ）製造開始	環境製品
2001年	日東工器グループでISO14001認証取得活動開始	ISO14001
2003年	グリーン調達分科会を設置・活動開始	グリーン調達
2004年	新製品の環境配慮設計（DfE）評価を開始	環境製品
	日東工器株式会社ISO14001認証取得	ISO14001
	グリーン調達ガイドライン0版発行	グリーン調達
	グリーン調達活動開始	グリーン調達
2006年	多摩川河川敷清掃活動開始	社会・環境活動
2007年	営業車ハイブリッド車導入開始／2018年現在54台（36%）導入	社会・環境活動
2009年	日東工器本社建築新社屋「CASBEE」最高ランク評価に認定	社会・環境活動
2010年	環境報告書の発行	環境報告書
	グリーン調達委員会を設置・分科会より活動移行	グリーン調達
	近隣清掃活動開始	社会・環境活動
2011年	主要グループ会社ISO14001認証取得完了	ISO14001
	大田区環境イベント「エコフェスタワンダーランド」参加	社会・環境活動
2012年	山形県「やまがた絆の森プロジェクト」参加（株式会社メドテック）	社会・環境活動
2013年	グリーン調達ガイドラインから基準へ名称変更（7版より）	グリーン調達
	大阪市ごみ減量優良標受贈（大阪支店）	社会・環境活動
2014年	製品含有化学物質管理システム（CMS）を構築	グリーン調達
	CMS中期目標（5ヶ年）策定	グリーン調達
	塩化メチレン使用中止で全生産拠点有害物質使用の全廃達成	グリーン調達
2015年	大阪府環境局特定建築表彰受賞（大阪支店）	社会・環境活動
2016年	既存製品のDfE評価（評価見直し）開始	環境製品
2017年	大田区廃棄物抑制・リサイクル推進優良事業者表彰受賞	社会・環境活動
2018年	日東工器グループISO9001/14001：2015年版への移行完了	ISO9001/14001
	山形県「みはらしの丘清掃」参加（株式会社メドテック）	社会・環境活動
	大阪市ごみ減量優良建築物標章受贈（大阪支店）	社会・環境活動

日東工器株式会社

- 本社：〒146-8555 東京都大田区仲池上二丁目9番4号
- TEL：03-3755-1111代
- URL：<http://www.nitto-kohki.co.jp/>

